

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	II-1 低炭素・省エネルギー社会の構築	施策No.	10	施策名	地球温暖化に対する適応策の推進
-----	----------------------	-------	----	-----	-----------------

目的、内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>影響が生じると考えられる各分野の取組みに「適応」の視点を取り込んでいき、リスクの回避・低減の取組みを長期的に進める。</li> <li>「緩和」と「適応」を両輪として温暖化対策を進める。</li> </ul>			
副次的効果、外部効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒートアイランド現象の緩和に資する。</li> </ul>			
関係法令、行政計画等	① 大阪府地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(2015年3月策定、計画期間2020年度まで) ② おおさかヒートアイランド対策推進計画(2015年3月策定、計画期間2025年度まで)			
国等の政策、社会情勢等	気候変動の影響への適応計画(2015年11月閣議決定)			
(参考) 講じた施策に記載した施策事業コスト	2014年度(決算額)(千円)	2015年度(決算額)(千円)	2016年度(決算見込額)(千円)	
	0	0	0	
	※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。			
取組指標及び実績(施策効果の定量評価)	名称	把握方法	実績	
①	「適応」の認知度	府インターネットアンケート(参考値)	2016年度「言葉を聞いたことがあり、なおかつ意味も知っていた」の回答7.9%	
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況
	地球温暖化の影響の把握、調査研究・適応策の検討	☆☆	「おおさかヒートアイランド対策推進計画」に基づく取組	おおさかヒートアイランド対策推進計画に基づく取組みを実施
			クールスポットモデル拠点推進事業	民間の敷地内に、夏の昼間の暑さを改善するクールスポットモデル的に整備する設備費の一部を補助。 整備完了地点：2件(2016年度)
			今世紀末における地球温暖化の影響調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015年8月に国が設立した「気候変動適応情報プラットフォーム」を活用し、全国の地球温暖化の影響を把握</li> <li>「環境省環境研究総合推進費S-8温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の成果を国立環境研究所から取得し、大阪府域における各分野の気候変動の影響を把握</li> <li>気象台より大阪府の将来気候予測を取得</li> </ul>
			温暖化に係る適応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害や健康等、7つの分野についての「適応に係る影響と施策」の検討を実施</li> <li>「大阪府地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置づけるために、「適応」の基本的方向性の検討を実施</li> </ul>
	※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗			
評価		評価	理由等	
	施策目的の達成状況	想定以下の進捗		
	事業・工程の進捗状況	概ね想定どおり進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおさかヒートアイランド対策推進計画に掲げた取組みについて、順調な進捗。</li> <li>クールスポットモデル拠点推進事業について、予定件数どおりの整備が完了済み。</li> </ul>	
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等	
	目標	無		
	施策の方向・主な施策	無		
	工程表	無		
	その他の改善事項	無		
関係課室	エネルギー政策課			

環境総合計画部会委員による点検(所見)	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	国の適応計画を参考にして、大阪府の適応対策の必要性について、個別的に検討し、必要に応じて施策の目標、それを達成するための施策について検討すべきである。取組指標が、認知度だけというのでは、あまりに時代遅れの感を抱かざるを得ない。施策としても、ヒートアイランド対策だけでよいのか。	同左	同左